

October

2018

孤児院の働きの進展

それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国々の人々を弟子となささい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、また、わたしがあなたがたに命じておいたことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。（マタイの福音書 28章19、20節）



聖所から流れ出る水ミッション

代表 エルサレム杉澤

皆さまの尊いお祈りとご献金を有難うございます。カンボジアチームが9月24日～28日の短期日程で現地スタッフ1名を含め総勢21名で派遣されました。全世界における孤児院の働きを主から語られているなか、次の段階の孤児院の働きの大きなポイントを持つチームとして派遣されました。

「礎の石孤児院カンボジア」は、国際NGOの孤児院として活動しています。また、孤児院の子どもたちは主の十字架クリスチャンセンター東京アンテオケ教会のインターネット礼拝会員となって、母教会のカバリングを受けるなか、目覚ましい信仰の変化や成長があり、日々、霊的、实际的に逞ましくなっています。

昼はチームと一緒に海水浴や大型ショッピングモールでボーリングやアイススケートを楽しんだり、孤児院でバーベキューを行うなど、楽しいひと時を過ごしました。また、今回も先回と同様、チームのメンバーから映像の撮り方や作詞・作曲、ギターのセミナーなどが行われ、子どもたちの食い入る真剣な眼差しや表情が非常に印象的でした。

夜の聖会では、定期的にチームが派遣されるようになってから、子どもたちが日本語のオリジナルゴスペル曲を日本語で賛美したり、今回、初めて自分たちで作詞・作曲したオリジナルゴスペル曲で特別賛美に加わるなど、教会のカバリングを受けている恵みと祝福が豊かに現される派遣となりました。

今回の派遣では今までになく多くの賛美グループが参加するなか、日本語のオリジナルゴスペル曲のコンサートが大型ショッピングモールで初めて行われる扉が開かれ、霊の壁が確かに打ち砕かれ、次の段階の働きに入る重要な派遣となりました。更に徹底して主に聞き従い、孤児院の働きにおける主の御心が完全に全うされるようお祈りください。

写真右：東京アンテオケ教会礼拝 賛美

パウロ秋元牧師（講壇右）

